



第7次 八戸市総合計画
ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市

資	料	1
令	和	6年7月18日
R	06	総市委03

第7次八戸市総合計画

【施策シート③】

第3回八戸市総合計画等推進市民委員会

令和6年7月18日

八 戸 市

○施策シート目次

政策5 「まち」を形づくる（政策分野：都市整備・公共交通）	…………… P 1
政策6 「八戸らしさ」を活かす （政策分野：シティプロモーション・観光・国際交流）	…………… P32

○施策シートの見方

■基本的な考え方

各政策の基本的な考え方を総合計画の冊子から転記しています。

■施策の体系

各政策の内容を体系的に掲載しています。

- ・政策…市が目指すべきまちづくりの方向を示すものです。
- ・施策の方向性…政策を推進するために、どのような方向性で施策を展開していくのかを示すものです。
- ・施策…施策の方向性ごとに、今後の方策を示すものです。

■各施策について、施策の内容のほか、以下の項目を記載しています。

（1）施策を推進するための事務事業

施策を推進するための事業について、代表的な事業と担当課を記載しています。各事業の具体的な内容については、第7次総合計画付属資料「令和5年度 政策を推進するための事業一覧」に掲載しています。

（2）市民アンケートの結果

施策の進行管理を目的として、令和6年3月に実施した市民アンケートの調査結果（施策の満足度）を記載しています。

（3）進行管理指標の動向

施策の進捗状況を確認するための指標の動向を記載しています。

（4）施策の進行状況に対する市の自己評価

市民アンケートの結果及び進行管理指標の動向に基づく、市の自己評価及び評価理由を記載しています。

（5）施策に対する委員会の評価

（4）に記載した市の自己評価の妥当性を審議いただき、記入する欄を設けています。

（6）施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見を記入する欄を設けています。

政策5

「まち」を形づくる（政策分野：都市整備・公共交通）

<基本的な考え方>

道路や上下水道、公園などの都市基盤施設や、路線バスや鉄道などの公共交通は、「まち」の基盤として市民の日常生活や円滑な事業活動を支えており、これらの基盤を整えることは、利便性や快適性、安全性を高め、市民の暮らしやすさの向上や更なる産業経済の発展につながります。

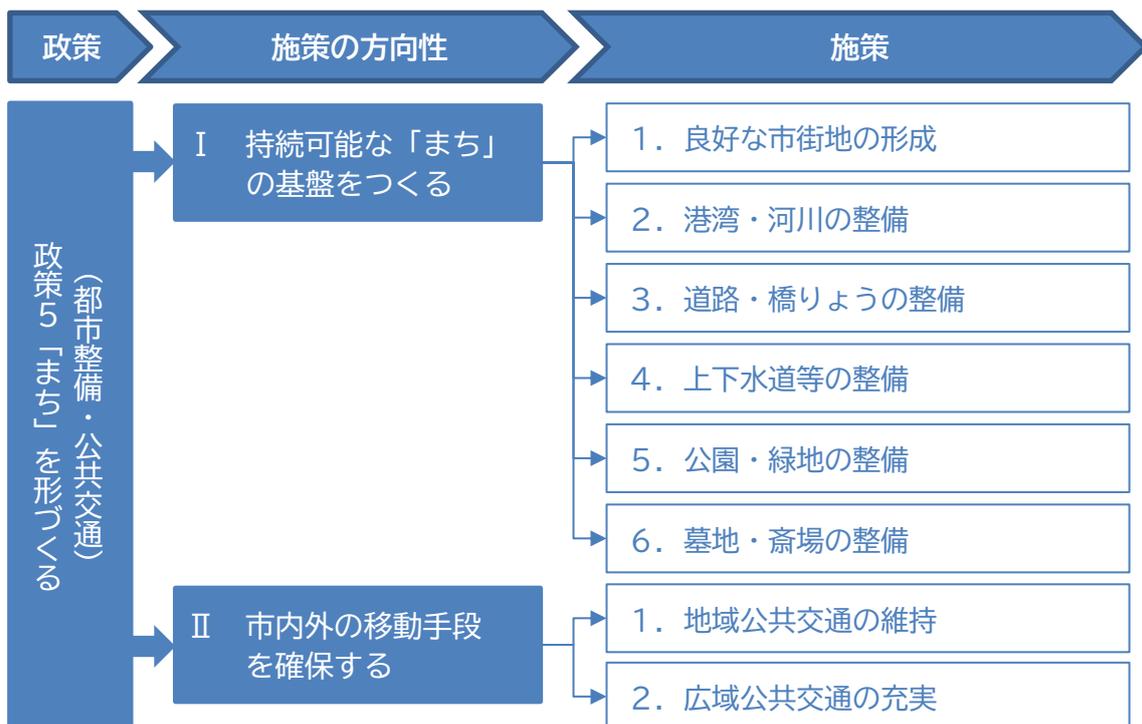
これまで、当市では、市民が快適な生活を送ることができるよう、八戸市都市計画マスタープランを策定し、それぞれの地域が持つ特色を活かした良好な市街地形成を進めるとともに、安全で利便性の高い暮らしの実現と産業経済活動の活性化が図られるよう、道路や橋りょう、上下水道の整備推進や港湾の整備促進に取り組んできました。

また、市民生活に潤いをもたらす公園・緑地や河川の整備、市民生活に不可欠な墓地・斎場を整備し、市民が生涯にわたって安心して暮らせる環境づくりを推進するとともに、「市民の足」となる路線バスなどの地域公共交通の充実や地域間交流を支える鉄道や航空機などの広域公共交通の確保に取り組んできました。

こうした中、人口減少や高齢化の進行、多様化する自然災害、街区の再開発や新たな産業への対応など、都市機能に求められるニーズは時代の変遷とともに変化しているとともに、将来を見据えた既存施設の適切な維持管理も重要であり、これらを踏まえた更なる取組を推進する必要があります。

このようなことから、当市では、良好な市街地の形成や港湾・河川、道路・橋りょう、上下水道等、公園・緑地、墓地・斎場の整備を進め、快適で潤いのある生活の確保と産業経済活動の活性化を図ることで持続可能な「まち」の基盤をつくとともに、市内外の移動手段を確保するため、地域公共交通の維持や広域公共交通の充実を図ります。

< 施策の体系 >



■ 施策の方向性 I 持続可能な「まち」の基盤をつくる

施策 1. 良好な市街地の形成

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・都市基盤施設が充実し、快適に暮らすことができる良好な市街地が形成されている。 ・都市機能が集積し、回遊性の高い快適な歩行空間が整備され、八戸の顔としてふさわしい魅力的な中心市街地が形成されている。
施策の内容	良好な居住環境の整備や街並みに調和した景観形成を進めるとともに、八戸市立地適正化計画に基づく都市機能や居住の立地促進を図ります。また、中心市街地における都市機能の集積や回遊性の高い都市空間の形成を図るとともに、総合的な空き家対策を推進します。

(1) 施策を推進するための事務事業

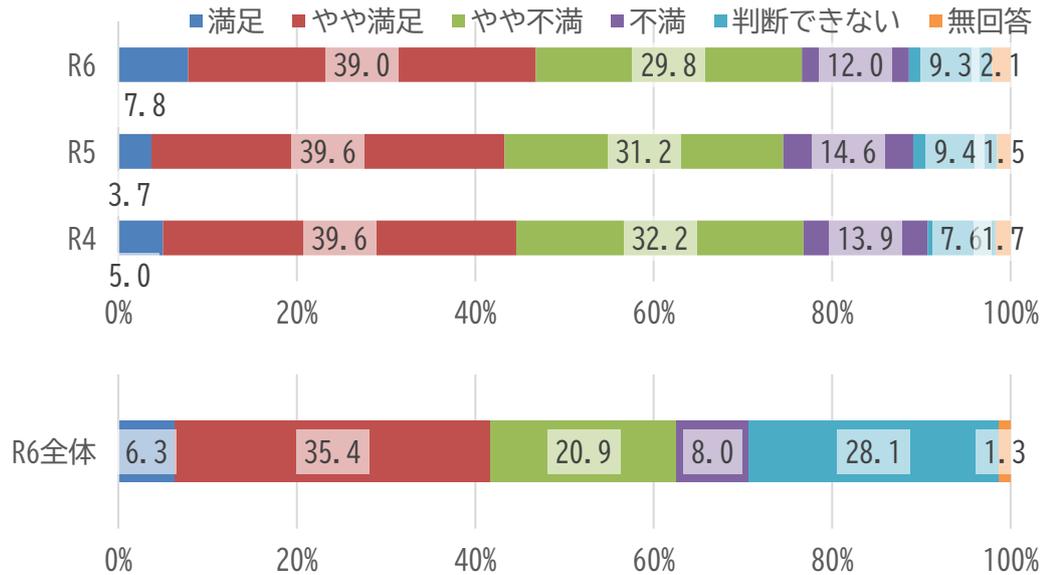
(28 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
本八戸駅通り地区整備事業	まちづくり推進課	P 108
湊地区まちづくり事業	まちづくり推進課	P 108
十三日町・十六日町地区再整備支援事業	まちづくり推進課	P 108
都市計画道路 3・5・1 号沼館三日町線整備促進事業	道路建設課	P 108
売市第二土地区画整理事業	都市政策課	P 108
市街地整備調査事業	都市政策課	P 108
売市第三地区土地区画整理事業(代替整備計画)	都市政策課	P 109
八戸駅西地区エリアマネジメント導入検討事業	都市政策課 駅西区画整理事業所	P 109
八戸駅西土地区画整理事業	駅西区画整理事業所	P 108
中心商店街空き店舗・空き床解消事業	まちづくり推進課	P 109
中心市街地商業等活性化事業	まちづくり推進課	P 109
花小路整備支援事業	まちづくり推進課	P 110
中心市街地活性化協議会運営事業	まちづくり推進課	P 110
中心市街地にぎわい形成事業	まちづくり推進課	P 110
八日町番町地区まちづくり支援事業	まちづくり推進課	P 110
中心街ストリートデザイン事業	まちづくり推進課	P 110
八戸ポータルミュージアム事業	八戸ポータルミュージアム	P 109
八戸まちなか広場事業	八戸ポータルミュージアム	P 110
借上市営住宅整備事業	建築住宅課	P 109
市営住宅等長寿命化事業	建築住宅課	P 110
八戸市立地適正化計画改定事業	都市政策課	P 111
三日町・十三日町街区イベント開催支援事業	まちづくり推進課	P 111
中心市街地活性化基本計画策定業務	まちづくり推進課	P 111
景観形成推進事業	まちづくり推進課	P 112
屋外広告物規制事業	まちづくり推進課	P 112

無電柱化推進事業	道路建設課	P 111
空き家等管理対策事業	都市政策課	P 112
空き家活用・住みかえ支援事業	都市政策課	P 112

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が快適に暮らすことができるよう、道路や公園の整備、中心市街地の歩行空間の整備など、良好な市街地の形成が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 31位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

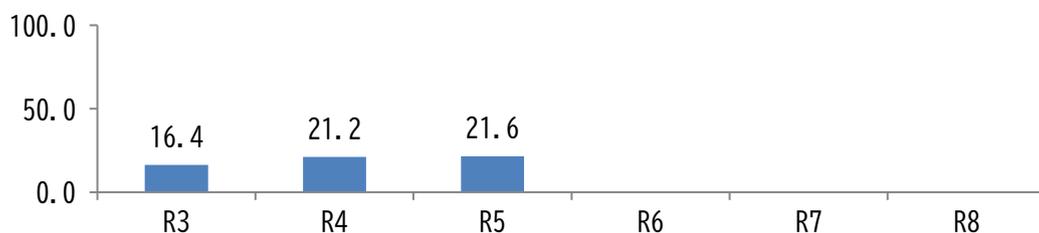
(3) 進行管理指標の動向

① 空き店舗・空き地率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：中心商店街7街区及び花小路の1階店舗の空き店舗・空き地率

(単位：%)

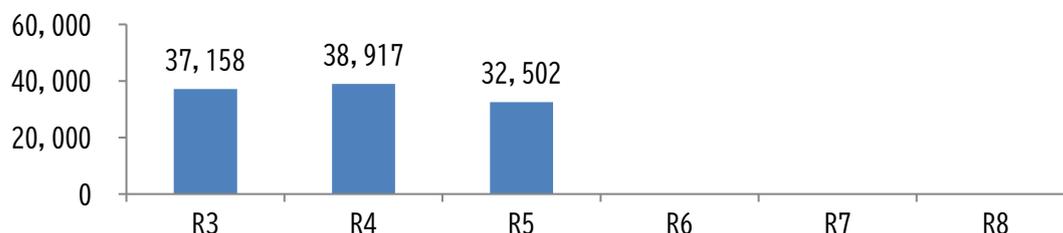


②中心市街地への来街者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：中心市街地の主要 8 地点における休日・平日の 2 日間の合計歩行者通行量

(単位：人)

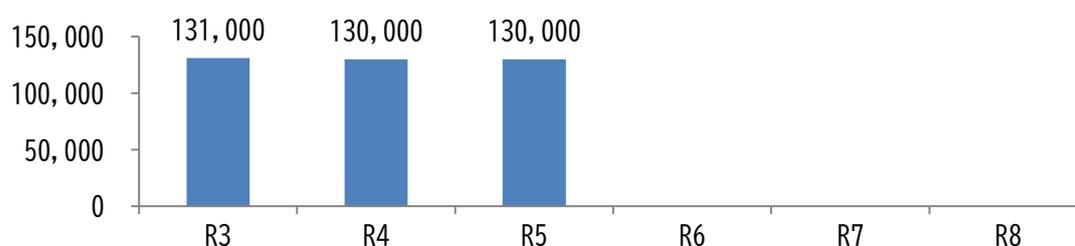


③中心市街地（三日町）の公示地価

資料：国土交通省（各年集計）

指標の定義：標準値番号 八戸_5-5（三日町 4 番 1）の地価公示価格

(単位：円/㎡)

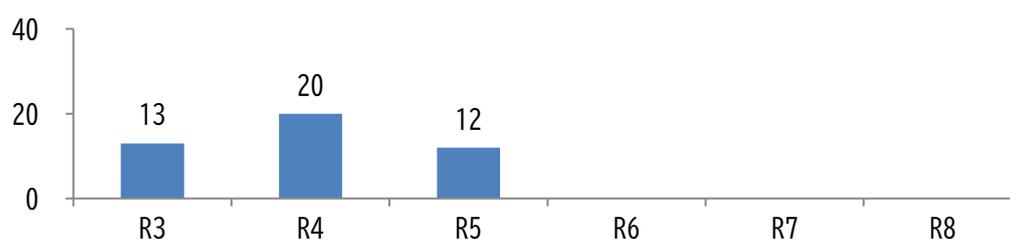


④空き家バンク登録物件の成約件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：空き家バンクに登録された物件の 1 年間の成約件数

(単位：件)

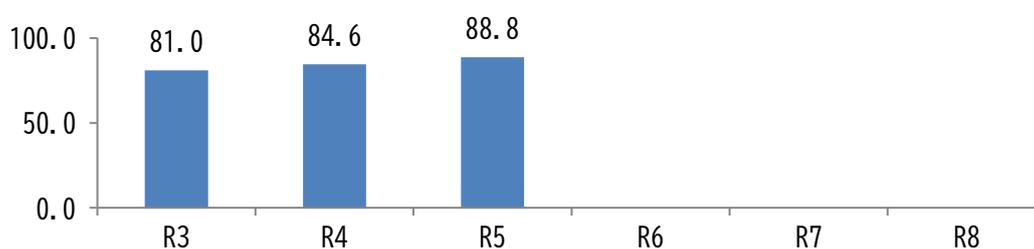


⑤八戸駅西土地区画整理事業の進捗率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度末における土地区画整理事業の進捗率（事業費ベース）

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- コロナ禍の消費行動の変化により大型商業施設や近隣店舗が閉店したことで、指標①の空き店舗・空き地率は悪化している。加えて、これまで目的地となっていた場所がなくなったことで、回遊誘因が減少し、関係性のある指標②の中心市街地の来街者数も減少している。
- 指標③の中心市街地（三日町）の公示地価については、公共施設を集積させてきた効果として、民間再開発が誘導されるなどエリアの価値が維持されている。
- 今後は、エリアマネジメントの視点での新たな空き店舗対策や中心街ストリートデザイン事業での歩きたくなる街路への再整備など、各種事業を推進することで来街機会創出と回遊性向上を図っていく。
- 指標④では、空き家活用・住みかえ事業について、空き家バンク登録物件の成約件数の指標の数値が低下したが、今後空き家バンク登録物件が成約したときに利用できる補助金制度をテレビ、ラジオ、SNS等で周知することで、成約件数の増加に繋げていく。
- 指標⑤では、八戸駅西土地区画整理事業について、計画的に道路及び整地工事、家屋移転を進めており、事業完了に向け着実に進んでいる。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策2. 港湾・河川の整備

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸港内の航行安全性が確保され、人や物の移動が円滑に行われている。 ・親水空間が確保されるとともに、治水対策により河川の氾濫による浸水被害が抑えられている。
施策の内容	国や県、関係団体との連携により港湾整備の促進を図ります。また、河川周辺の自然環境の保全を推進するとともに、河川の治水対策の推進及び促進を図ります。

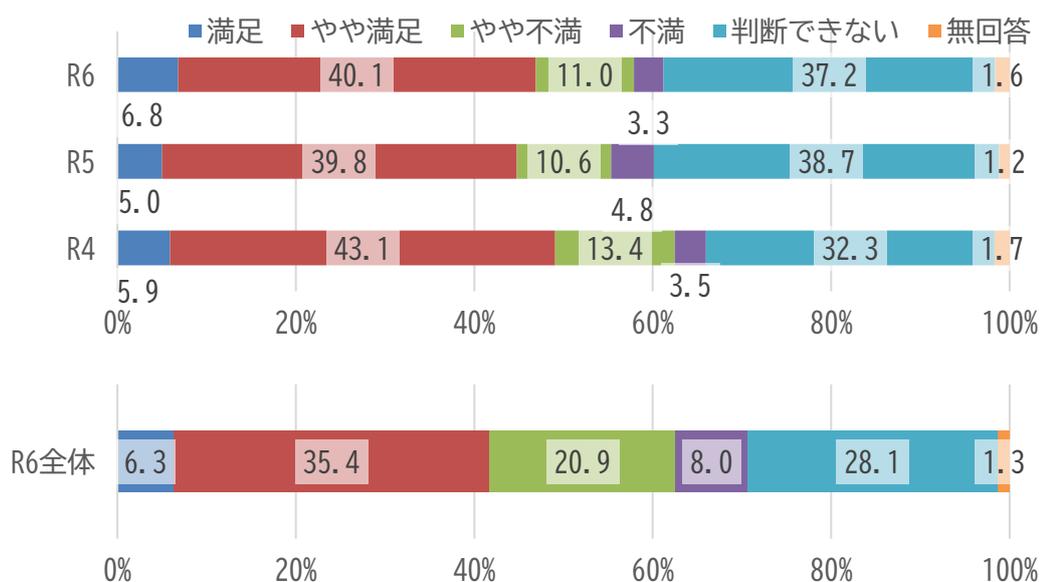
(1) 施策を推進するための事務事業

(5事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
港湾整備促進事業	港湾河川課	P 113
河川改修促進事業	港湾河川課	P 113
緊急自然災害防止対策事業	港湾河川課	P 113
緊急浚渫推進事業	港湾河川課	P 113
南郷地区排水路築造事業	港湾河川課	P 113

(2) 市民アンケートの結果

【設問】八戸港を利用する船舶の安全性・利便性の確保や河川の氾濫による浸水被害の防止対策など、港湾・河川の整備が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 8位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

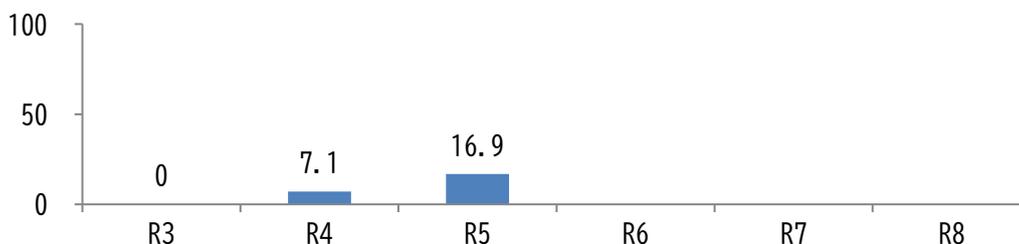
(3) 進行管理指標の動向

① 準用河川土橋川の整備進捗率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：準用河川 土橋川の計画的な治水対策の促進のための整備進捗率（補修済延長／計画延長） ※工事は令和4年度から

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 準用河川土橋川における緊急自然災害防止対策事業について、令和4年度から河川護岸整備に着手し、令和5年度も引き続き工事を実施したことから、整備進捗率の指標が上昇し、水害の防止または軽減に繋がっている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

•

•

施策3. 道路・橋りょうの整備

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ネットワークを構築する道路や橋りょうが整備され、日常生活の利便性が向上している。 ・市民や道路利用者が安全に道路や橋りょうを利用できている。
施策の内容	道路・橋りょうの整備や適正な維持管理に取り組むとともに、計画的な予防保全による長寿命化を図ります。また、三陸沿岸道路や上北自動車道などの幹線道路の整備促進に加え、機能強化及び利活用の促進を図ります。

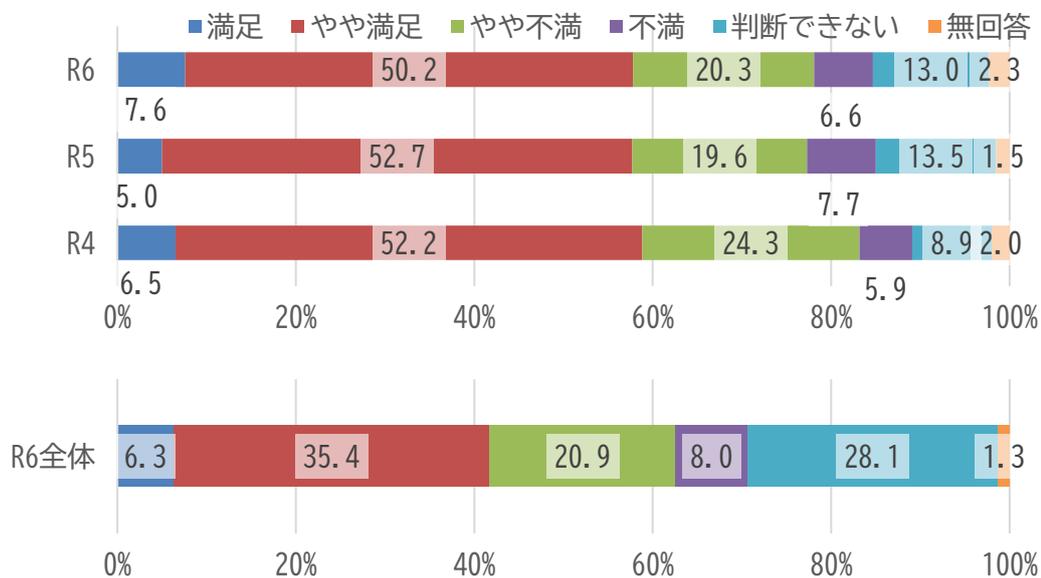
(1) 施策を推進するための事務事業

(24 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
都市計画道路3・3・8号白銀市川環状線整備促進事業	道路建設課	P 114
都市計画道路3・5・1号沼館三日町線整備促進事業	道路建設課	P 114
高規格幹線道路整備促進事業	道路建設課	P 114
主要道路整備促進事業	道路建設課	P 114
三陸沿岸道路利活用促進事業	道路建設課	P 114
八戸西スマートインターチェンジ利用促進事業	道路建設課	P 115
八戸館地区農道整備促進事業	道路建設課	P 114
無電柱化推進事業	道路建設課	P 115
新井田白銀線歩道整備事業	道路建設課	P 115
新大橋整備事業	道路建設課	P 115
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業	道路建設課	P 116
社会資本整備総合交付金事業（道路）	道路建設課	P 116
道路新設改良事業	道路建設課	P 116
南郷地区道路新設改良事業	道路建設課	P 117
一番町矢沢線歩道整備事業	道路建設課	P 117
LED防犯灯整備助成事業	道路維持課	P 115
橋りょう長寿命化事業	道路維持課	P 115
交通安全施設整備事業	道路維持課	P 115
主要幹線舗装補修事業	道路維持課	P 115
地域の安心・安全見守り活動推進事業（道路）	道路維持課	P 116
道路維持補修事業	道路維持課	P 116
道路改良事業	道路維持課	P 116
橋りょう整備事業	道路維持課	P 116
八戸市防犯灯LED化エコ事業	道路維持課	P 116

(2) 市民アンケートの結果

【設問】人や物の移動が安全かつ円滑に行われるよう、道路・橋りょうの整備が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 13位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

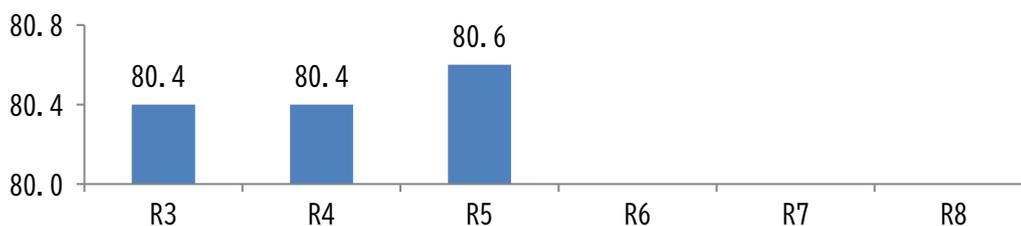
(3) 進行管理指標の動向

①都市計画道路の整備進捗率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度末の都市計画道路の整備進捗率（改良延長／決定延長）

（単位：％）

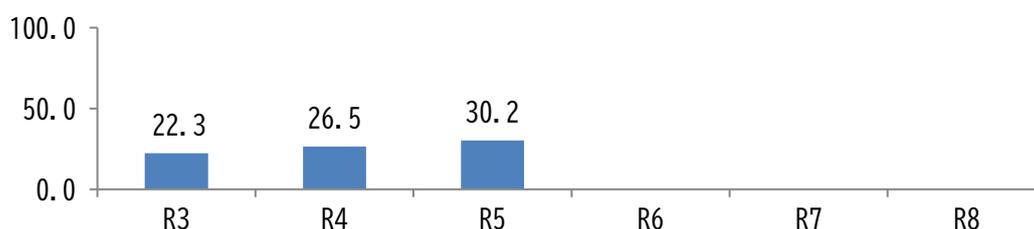


②道路の修繕完了率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：舗装の個別施設計画に基づく道路補修の対応率（対応済延長／要対応延長）

（単位：％）

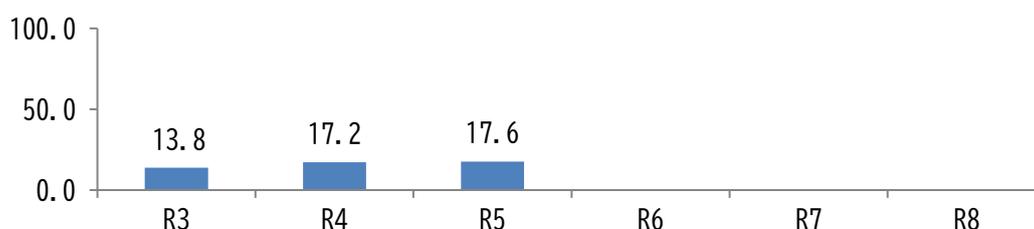


③橋りょうの修繕等措置完了率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸市橋梁長寿命化修繕計画に基づき長寿命化対策が図られた橋りょうの割合
（対応橋梁数／要対応橋梁数）

（単位：％）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 道路及び橋りょうの修繕は、各種計画や住民からの要望等に基づき、維持修繕を適切に実施しており、利用者の安全確保と施設の長寿命化に繋がっている。また、長期的な視点から橋りょうを効果的・効率的に管理し、維持更新コストの最小化・平準化を図っていくため、昨年度に八戸市橋梁長寿命化修繕計画を見直し、令和6年度から令和15年度までの修繕計画を策定したところであり、必要性・緊急性等を勘案し、柔軟に工事を実施していく。
- 交通安全施設整備事業や道路維持補修事業について、傷んだ歩道・側溝などの補修を計画どおりに実施しており、歩行者の安全を確保する環境づくりや良好な生活環境づくりを順調に進めている。
- 新大橋架け替え事業について、今年度から橋面工（車道・歩道部舗装）の整備を実施しており、予定より1年早い令和7年3月の供用開始に向けて、順調に事業を進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策4. 上下水道等の整備

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・上水道が整備され、安全で良質な水が安定して供給されている。 ・雨水浸水の起きにくい下水道等が整備され、衛生的な生活環境が確保されている。
施策の内容	上水道の整備や公共下水道、都市下水路の整備を計画的に進めるとともに、公共下水道計画区域外における合併処理浄化槽への転換促進を図ります。

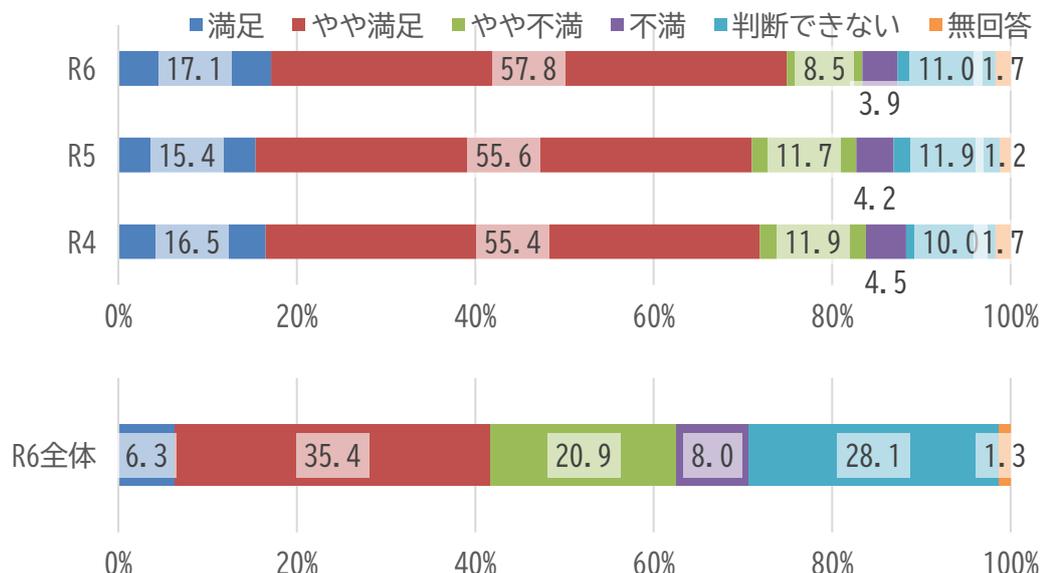
(1) 施策を推進するための事務事業

(9事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
八戸市公共下水道事業	下水道建設課	P 118
農業集落排水事業	下水道建設課	P 118
都市下水路整備事業	下水道施設課	P 118
水道事業 水道安全対策事業(『安全』)	水道企業団	P 118
水道事業 水道施設耐震化事業(『強靱』)	水道企業団	P 118
水道事業 水道施設・管路更新事業(『持続』)	水道企業団	P 118
水道事業 お客様サービス向上事業(『連携』)	水道企業団	P 118
合併処理浄化槽設置整備事業	下水道業務課	P 119
し尿処理事業	(広域) 八戸環境 クリーンセンター	P 119

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が安全で良質な水を安定的に利用できるとともに、生活排水や雨水が適切に処理されるよう、上下水道等の整備が図られている。



【参考】満足度(「満足」と「やや満足」を合わせた割合)の順位 4位/全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

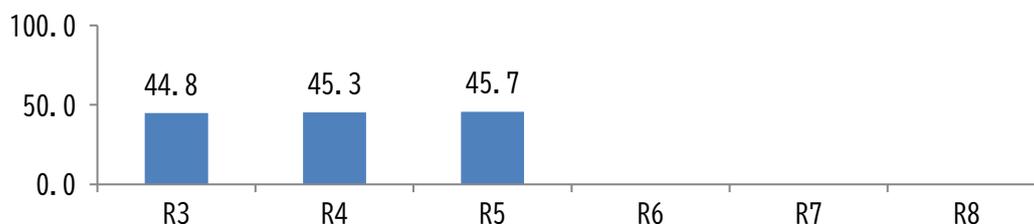
(3) 進行管理指標の動向

①上水道の耐震化率

資料：八戸圏域水道企業団（各年度集計）

指標の定義：上水道管路の耐震化率（耐震管延長／管路延長）

（単位：％）

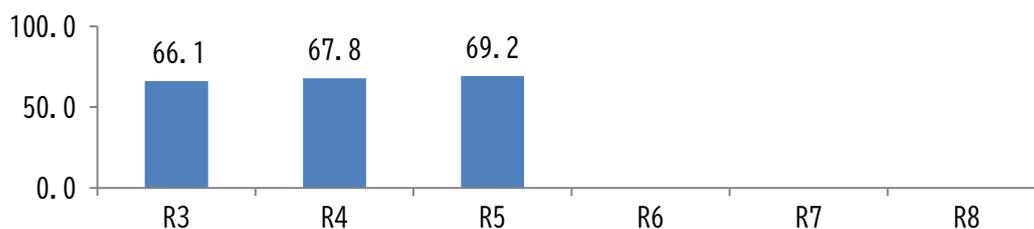


②下水道の普及率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：行政人口のうち、下水道を使用できる人の割合

（単位：％）

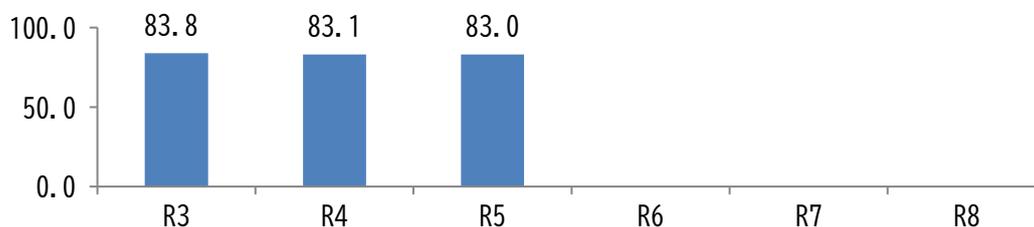


③水洗化率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：下水道を使用できる人口のうち、実際に下水道に接続している人の割合

（単位：％）

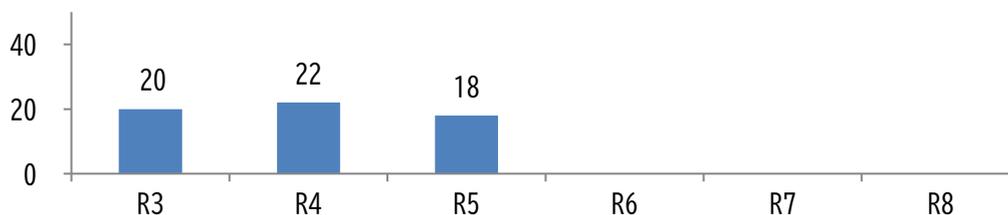


④合併処理浄化槽の補助基数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度における合併処理浄化槽設置補助金交付基数

(単位：基)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 「水道施設耐震化事業（強靱）」及び「水道施設・管路更新事業（持続）」は、財政負担を軽減するため、計画期間（R 1～10年度）全体での事業費の平準化を図りながら計画的に進めており、指標①の上水道管路の耐震化率は順調に増加している。
- 八戸市公共下水道事業について、八戸市公共下水道全体計画に基づき、着実に整備を進めており、指標②の下水道の普及率の推移は順調に増加している。今後も計画的に整備を進め、衛生的な生活環境の確保を図っていく。
- また、都市下水路に関しては、予定された区間の整備が完了しているほか、社会資本整備総合交付金を活用して下水道の整備を進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策5. 公園・緑地の整備

目指す姿	・自然や緑に触れ合える公園や緑地が整備され、潤いのある暮らしが確保されている。
施策の内容	公園・緑地における施設の長寿命化やバリアフリー化を図るとともに、持続的な維持管理体制の構築に取り組みます。

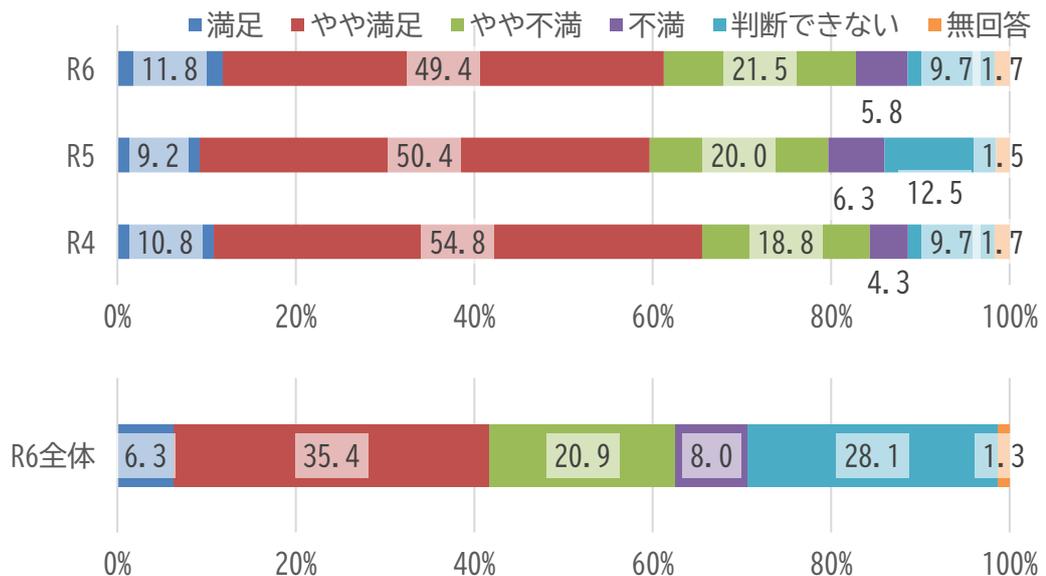
(1) 施策を推進するための事務事業

(8事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
緑化事業（草花配布事業）	公園緑地課	P 120
公園施設長寿命化事業	公園緑地課	P 120
こどもの国大型複合遊具設置事業	公園緑地課	P 120
館鼻公園整備事業	公園緑地課	P 120
長根公園再編事業	公園緑地課	P 120
地域の安全・安心見守り活動推進事業（公園）	公園緑地課	P 120
都市公園整備事業	公園緑地課	P 120
市民で賑わう公園魅力向上事業	公園緑地課	P 120

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が自然や緑に触れ合うことにより、潤いのある生活を送れるよう、公園・緑地の整備が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 10位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

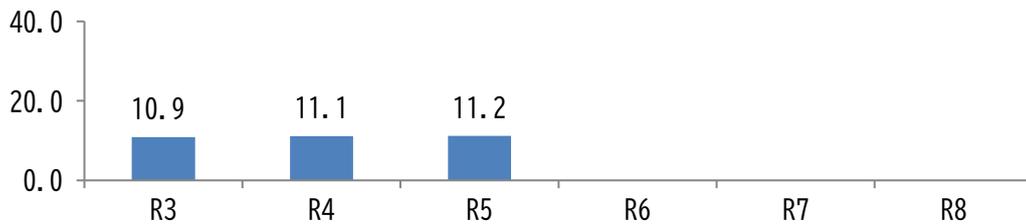
(3) 進行管理指標の動向

①人口一人当たりの公園面積

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：人口一人当たりの都市公園面積

(単位：㎡/人)

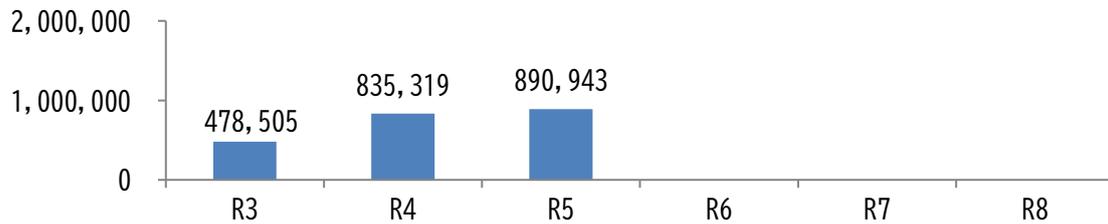


②公園施設の利用者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸公園（植物公園・こどもの国）、館鼻公園（グレットタワーみなど）の入場者数

(単位：人)

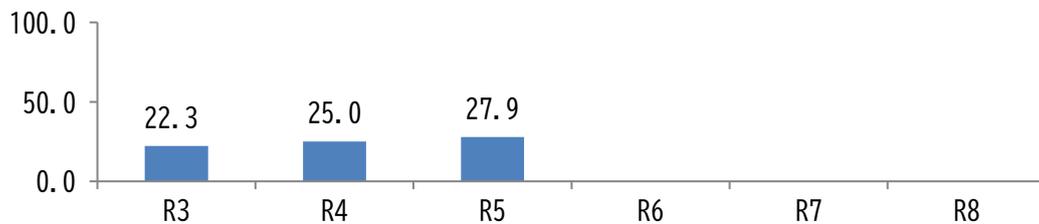


③公園施設の改築・更新率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設の割合（累計改築済み公園施設数/改築が必要な公園施設数）

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 市民で賑わう公園魅力向上事業にて、都市公園の整備を順次進めているほか、緑のまちづくりの総合的な指針として策定している「緑の基本計画」において、国の目標値である人口一人当たりの都市公園面積10㎡については既に達成しており、今後は市民ニーズを汲んだ公園整備等を通じて、更なる市民満足度の向上に努めていく。
- コロナ禍における行動制限がなくなったこと及びこどもの国大型複合遊具設置事業によって新たな遊具が一部供用開始したことなどが寄与し、指標②の公園施設の利用者数は順調に増加している。
- 指標③の公園施設の改築・更新率における公園施設の改築では、長寿命化計画に基づいた着実な更新に加え、定期点検等により異常が発見された緊急性のある施設は、公園利用者等の安全を第一に考え、優先的に改築を実施しており、適切な維持管理を行っている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考えます →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

•
•
•

施策6. 墓地・斎場の整備

目指す姿	・多様なニーズや老朽化に対応した墓地や斎場が整備され、市民が生涯にわたって安心して暮らせる環境が確保されている。
施策の内容	多様化する市民ニーズに応じた市営霊園の計画的な整備を進めるとともに、適正な維持管理に取り組みます。また、老朽化や増大する施設需要に対応した斎場の計画的な整備を推進するとともに、適正な維持管理に取り組みます。

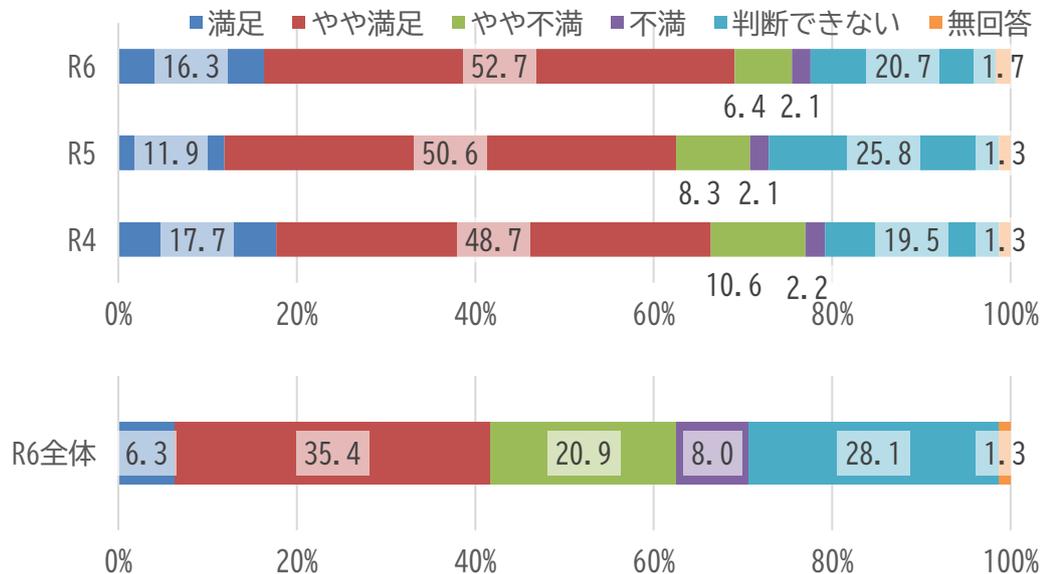
(1) 施策を推進するための事務事業

(3事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
斎場運営事業	市民課	P 121
市営霊園管理事業	市民課	P 121
合葬墓整備事業	市民課	P 121

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が安心して市営霊園や斎場を利用できるよう、墓地・斎場の整備が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 2位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

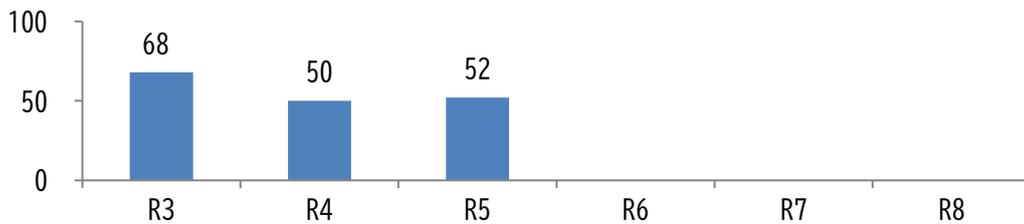
(3) 進行管理指標の動向

①市営霊園使用予約の待機者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：墓地区画使用予約待機者数

(単位：人)

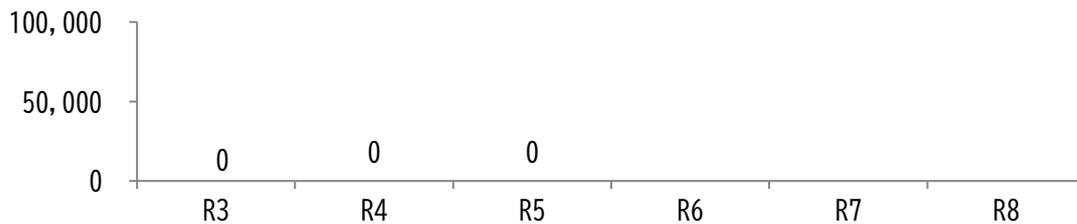


②市外斎場使用助成金の交付額

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市外斎場使用助成金の交付実績

(単位：円)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 指標①の市営霊園使用予約の待機者数は、市合葬墓の利用や墓じまい、県外在住者による墓地の改葬等により、返還される墓地区画を安定的に供給しているため、市営霊園使用予約の待機者数は概ね横ばいとなっている。
- 市外斎場使用助成金は、市斎場での火葬を希望したにもかかわらず、死亡の日から5日間、火葬予約が満杯であった場合や災害等により利用できなかった場合、市外斎場を利用した際に交付される制度であるが、市斎場においては、増加する火葬件数への対応や施設の長寿命化を図るため、高性能な火葬炉の入れ替えや火葬予約システムを導入しており、火葬業務の効率化や市民ニーズへの対応が図られていることから、令和2年度以降交付実績がない状況である。
- 今後も多様化する市民ニーズに応じた市営霊園の計画的な整備、老朽化や施設需要に対応した斎場の計画的な整備を推進していく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

■ 施策の方向性Ⅱ 市内外の移動手段を確保する

施策1. 地域公共交通の維持

目指す姿	・わかりやすく利用しやすい地域公共交通ネットワークが構築され、多くの市民や当市への来訪者に利用されている。
施策の内容	持続可能な地域公共交通網を形成するとともに、利用者ニーズに対応した地域公共交通の利便性向上を図ります。

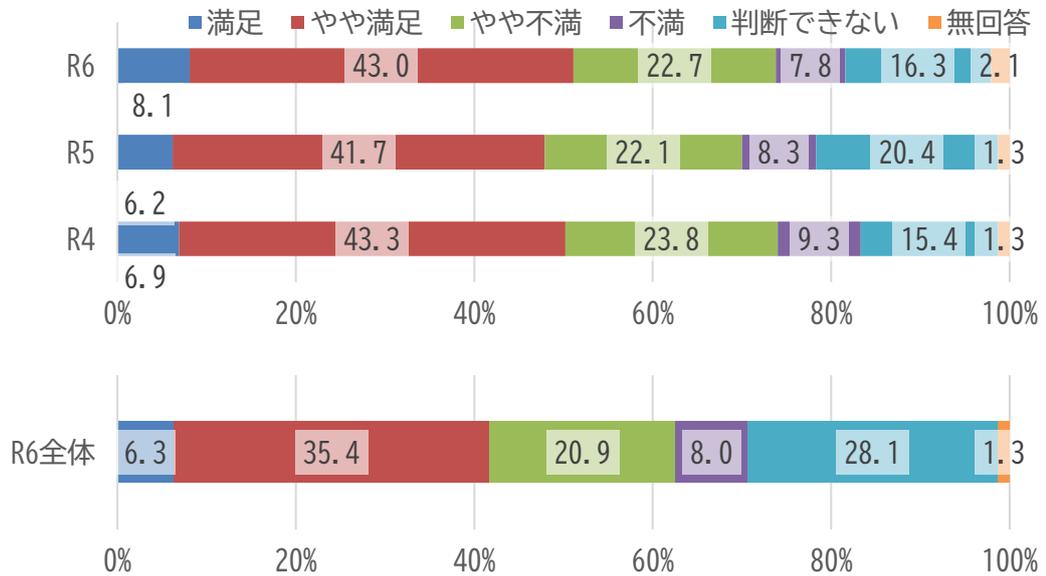
(1) 施策を推進するための事務事業

(9事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
南郷コミュニティ交通事業	南郷事務所	P 122
高齢者バス特別乗車証交付事業	高齢福祉課	P 122
障がい者バス特別乗車証交付事業	障がい福祉課	P 122
八戸圏域地域公共交通計画推進事業	政策推進課	P 122
バス路線維持対策補助事業	政策推進課	P 122
エコ定期発行事業	交通部	P 122
エコパスポート発行事業	交通部	P 123
運行路線・ダイヤ編成	交通部	P 123
バスロケーションシステムの運用	交通部	P 123

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民や当市への来訪者が市内を円滑に移動できるよう、地域公共交通の維持が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 19位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

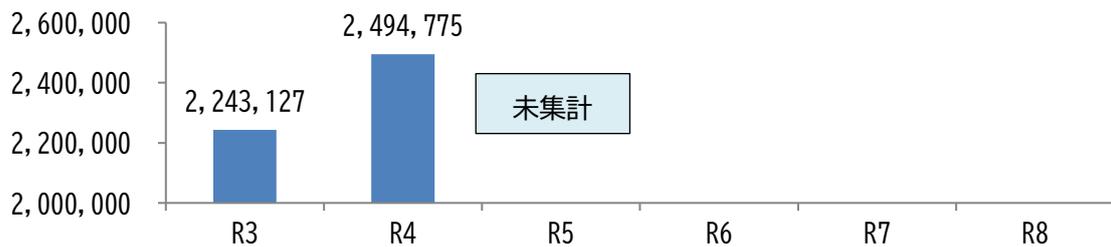
①市内鉄道駅の乗車人数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度末の市内鉄道駅の乗車人数（八戸駅、本八戸駅、鮫駅の合計）

※鉄道事業者が公表する駅別乗車人数から市が算出

（単位：万人）

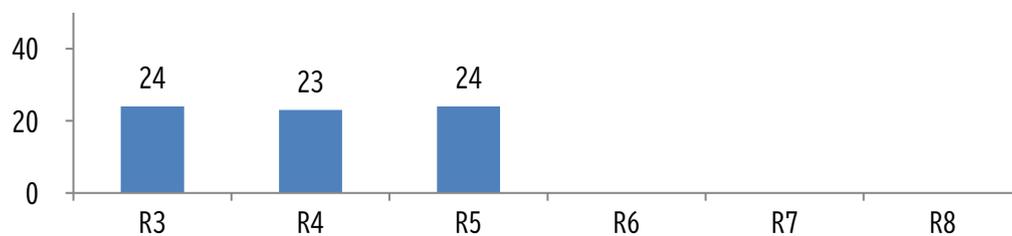


②市民一人当たりの年間平均路線バス利用回数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度における市民一人当たりの年間平均市営バス利用回数
(年間輸送人員/年度末人口)

(単位：回)

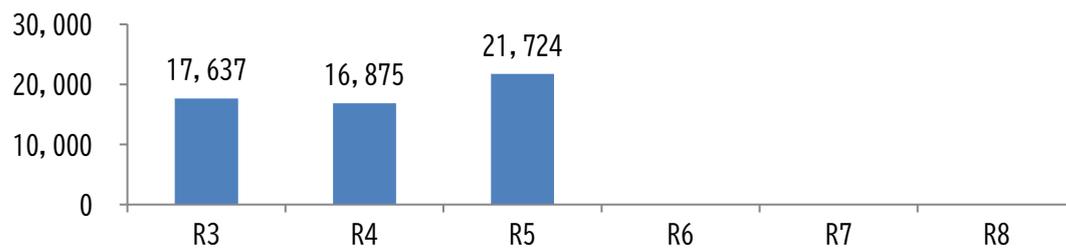


③バス特別乗車証の交付者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：高齢者及び障がい者へのバス特別乗車証の交付人数の合計

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 八戸圏域地域公共交通計画等に基づき、利用者の利便性向上のため、バスマップ等を作成したほか、燃料価格高騰による経費増大が経営に及ぼす影響を緩和することで、公共交通を維持するため、路線バス事業者に対し、路線バス事業継続支援金を交付したところであり、コロナ禍からの回復に加え、これらの取組みにより、バス利用者の増加を図っている。
- さらに、バスロケーションシステムの活用、高齢者・障がい者バス特別乗車証の交付及びエコパスポートの発行等の取組を通じて、利用者の利便性を高めている。
- 南郷コミュニティ交通事業については、南郷地域住民の移動手段として取り組む事業で、前年度比+5%の利用者数となっている。令和6年度も事業の周知を図りながら、コミュニティバスやコミュニティタクシーにより、南郷地域住民の交通手段を確保していく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>

施策2. 広域公共交通の充実

目指す姿	・ 本市と国内各地との交流を支える広域公共交通ネットワークが構築され、多くの交流が行われている。
施策の内容	陸、海、空の広域公共交通の利用を促進するとともに、地域公共交通との乗継利便性向上の取組や乗継環境の整備を推進します。

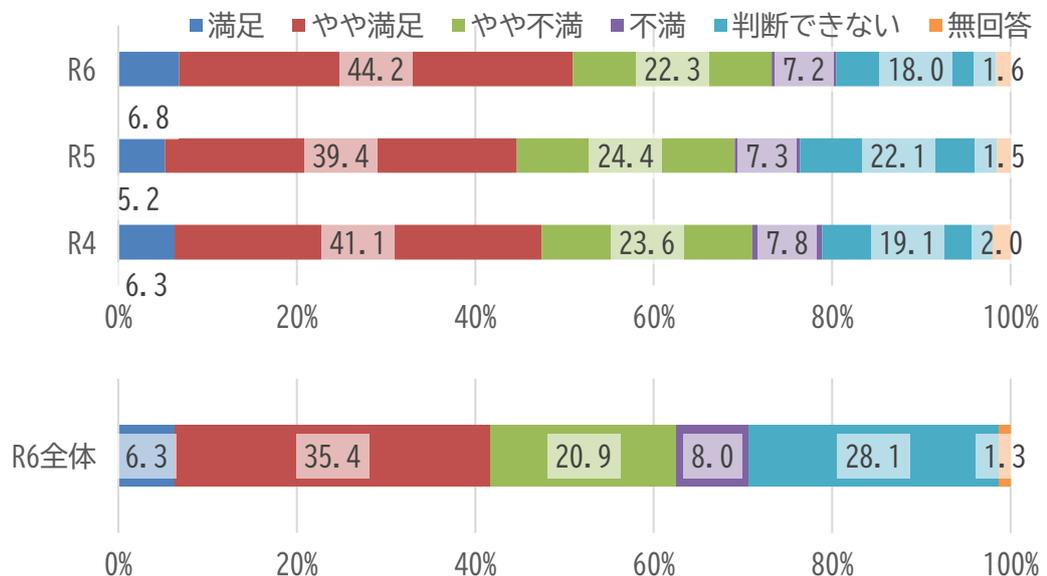
(1) 施策を推進するための事務事業

(4事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
鉄道の充実・利用促進事業	政策推進課	P 124
航空路の充実・利用促進事業	政策推進課	P 124
運行路線・ダイヤ編成	交通部	P 124
八戸駅前東口広場整備事業	都市政策課	P 124

(2) 市民アンケートの結果

【設問】 市民や本市への来訪者が本市と国内各地を円滑に移動できるよう、広域公共交通の充実が図られている。



【参考】 満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 15位／全55問

※ 「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

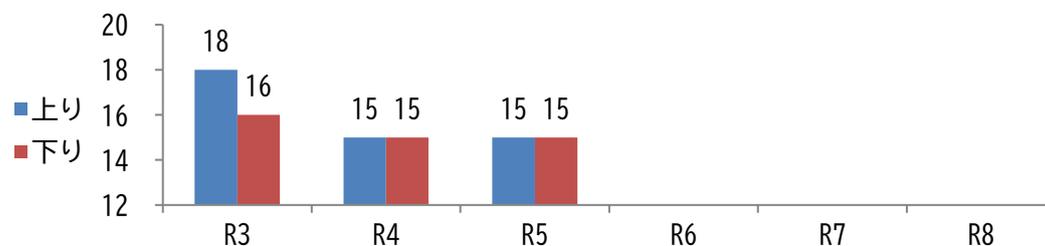
(3) 進行管理指標の動向

①八戸・主要都市間の主要交通機関の便数 (新幹線：八戸—東京)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：新幹線 八戸—東京の各年4月1日の往復便数

(単位：便)

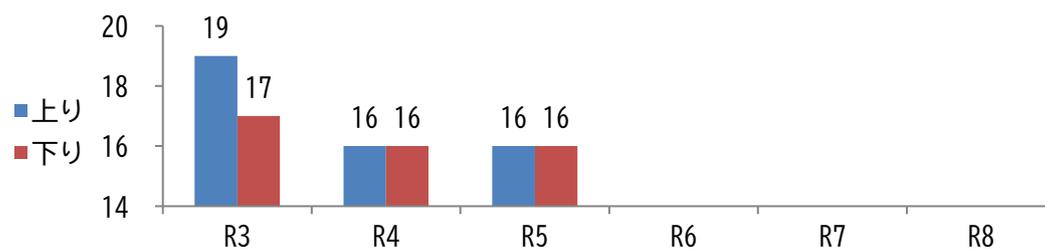


②八戸・主要都市間の主要交通機関の便数 (新幹線：八戸—仙台)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：新幹線 八戸—仙台の各年4月1日の往復便数

(単位：便)

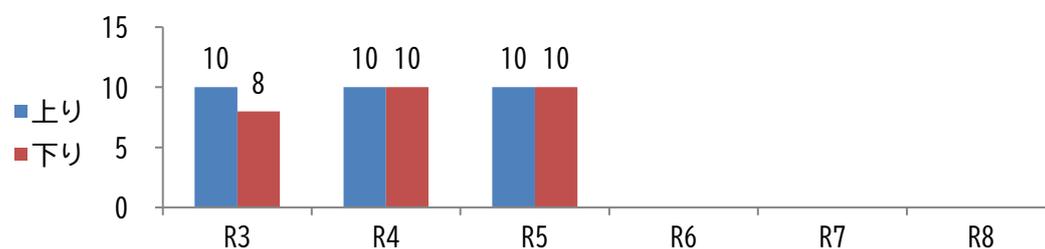


③八戸・主要都市間の主要交通機関の便数 (新幹線：八戸—新函館北斗)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：新幹線 八戸—新函館北斗の各年4月1日の往復便数

(単位：便)

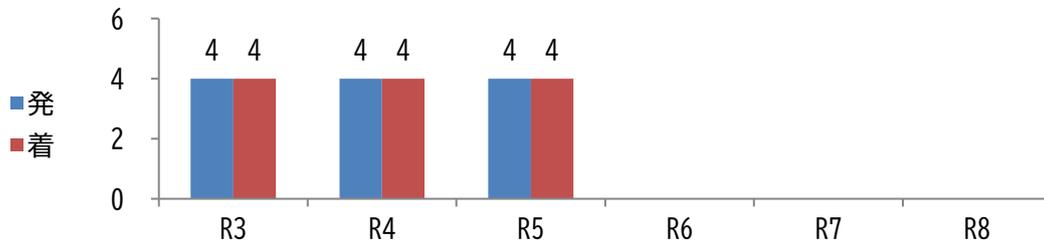


④八戸・主要都市間の主要交通機関の便数
 (航空機：三沢—東京)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：航空機 三沢—東京の各年4月1日の往復便数

(単位：便)

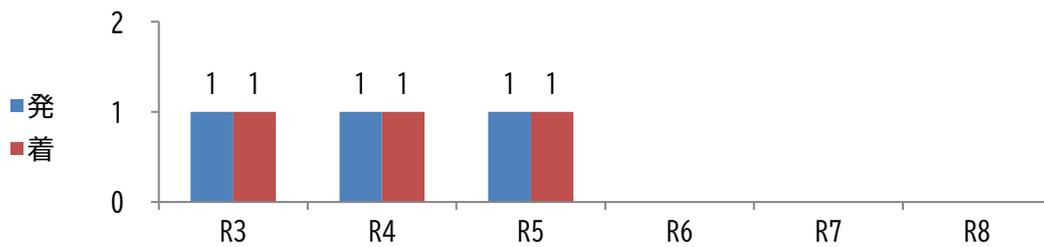


⑤八戸・主要都市間の主要交通機関の便数
 (航空機：三沢—大阪)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：航空機 三沢—大阪の各年4月1日の往復便数

(単位：便)

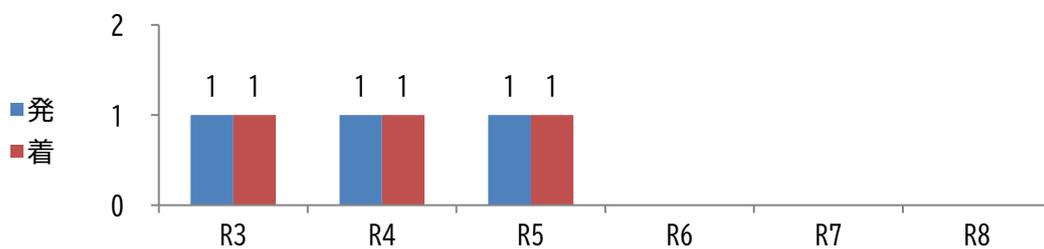


⑥八戸・主要都市間の主要交通機関の便数
 (航空機：三沢—札幌)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：航空機 三沢—札幌の各年4月1日の往復便数(金・土・日のみ運航)

(単位：便)

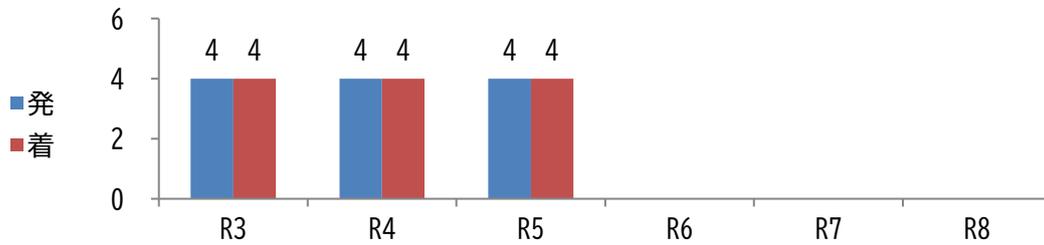


⑦八戸・主要都市間の主要交通機関の便数
 (フェリー：八戸ー苫小牧)

資料：八戸市 (各年度集計)

指標の定義：フェリー 八戸ー苫小牧の各年4月1日の往復便数

(単位：便)

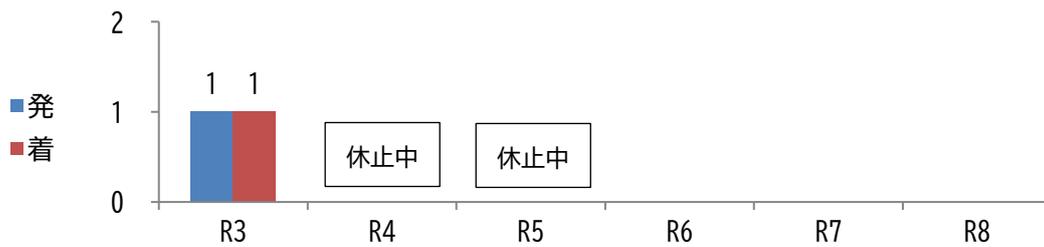


⑧八戸・主要都市間の主要交通機関の便数
 (フェリー：八戸ー室蘭)

資料：八戸市 (各年度集計)

指標の定義：フェリー 八戸ー室蘭の各年4月1日の往復便数

(単位：便)

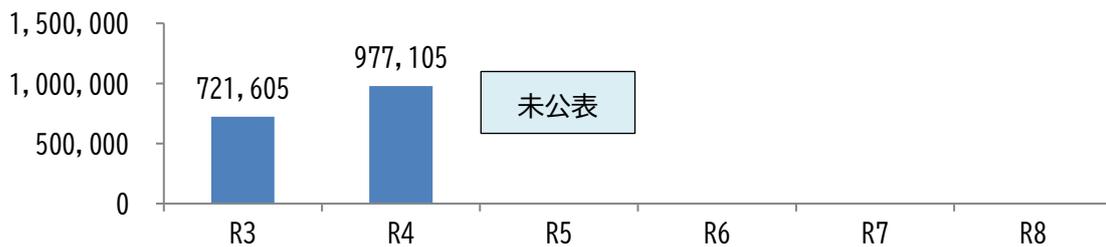


⑨JR 八戸駅新幹線の乗車人数

資料：東日本旅客鉄道株 (各年度集計)

指標の定義：各年度の JR 八戸駅における一日平均の新幹線乗車人数

(単位：人/日)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 関係協議会を通じ、空港機能拡張や増便に向けた航空事業者への要望活動を行ったほか、三沢空港利用促進のための旅行商品の造成やさっぽろ雪まつり等でのプロモーション活動を行った。
- コロナ禍からの回復で、観光客やインバウンドの移動も増加していることから、新幹線の利便性向上や三沢-羽田線4便化の令和8年度以降の継続に向けて、事業者への要望を続けていく。
- 八戸駅前広場整備事業は、令和8年度の工事着手を目指して、国・県・関係機関と協議しており、令和6年度は測量を実施する予定である。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考え →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

政策6

「八戸らしさ」を活かす

(政策分野：シティプロモーション・観光・国際交流)

< 基本的な考え方 >

当市には、三陸復興国立公園に指定されている種差海岸や、ユネスコ無形文化遺産である八戸三社大祭、当市発祥のB-1グランプリでゴールドグランプリを受賞した八戸せんべい汁など、当市ならではの個性豊かな地域資源が数多くあります。

これらの地域資源が有する「八戸らしさ」を活かすことは、八戸の知名度向上や市民の当市への愛着や誇りの醸成を促し、市民はもとより国内外の人々の当市への関心を高めることにつながるとともに、交流人口の増加や関係人口及び定住人口の創出・拡大に結びつき、当市を多くの人を惹きつける魅力あふれるまちへと発展させます。

これまで、当市では、「八戸らしさ」を有する地域資源の価値を高めるため、地域の農水産物のブランド化を推進するとともに、史跡・名勝の整備保全、国内外に誇る有形・無形の文化財の保存・活用に取り組んできました。

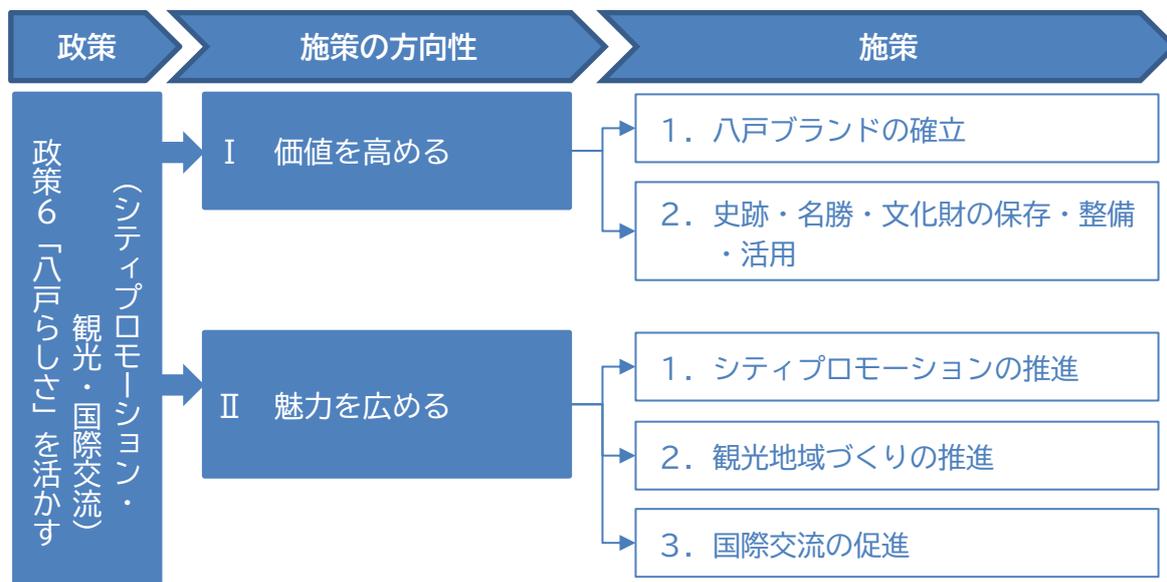
また、国内外に当市の魅力を広めるため、SNSなどの多様な媒体を活用した魅力発信や、豊かな自然や祭り、歴史・文化、食を活かした観光PRの推進、観光客の受入体制の充実、海外都市等との交流促進に取り組んできました。

そのような中、令和3(2021)年度に史跡是川石器時代遺跡が、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産として世界遺産に登録されたことは、市民の当市への誇りの醸成につながるとともに、国内外から多くの人々が当市を訪れる大きな好機となります。

今後は、これらの地域資源が有する価値を一層高め、当市の魅力をより国内外に広めることで、市民の当市への愛着や誇りの更なる醸成を図るとともに、交流人口の増加や関係人口及び定住人口の創出・拡大につなげることが重要です。

このようなことから、当市では、八戸ブランドの確立や史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用を図り、地域資源の価値を高めるとともに、国内外にその魅力を広めるため、シティプロモーションや観光地域づくりの推進、国際交流の促進を図ります。

< 施策の体系 >



■ 施策の方向性 I 価値を高める

施策1. 八戸ブランドの確立

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸ブランドが多くの人々に認知されている。 ・八戸ブランド商品が国内外に数多く流通している。
施策の内容	八戸ブランド商品の開発支援や商標登録の促進を図るとともに、八戸ブランド商品が有する価値や魅力の積極的なPRに取り組みます。

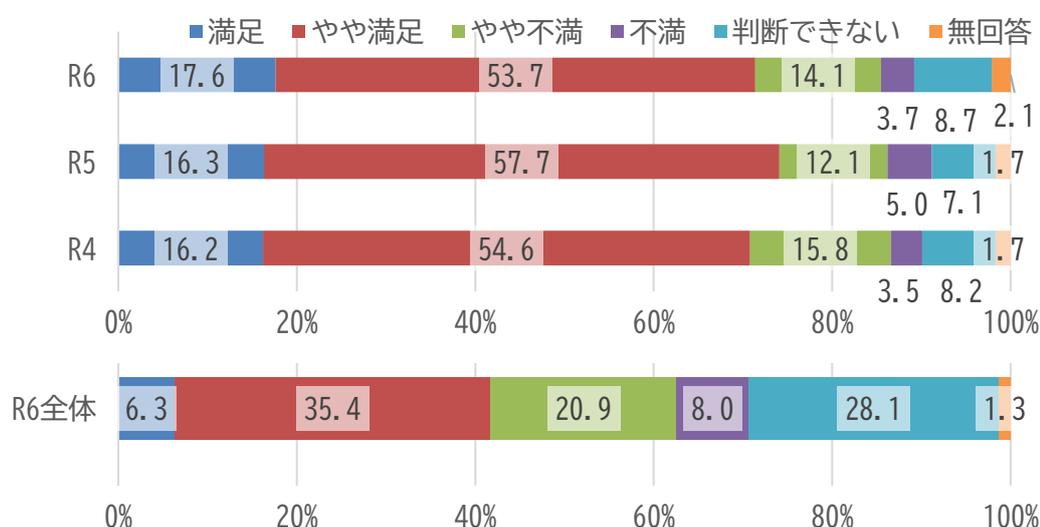
(1) 施策を推進するための事務事業

(8事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
知的財産権対策支援事業	商工課	P 125
中小企業振興補助金交付事業	商工課	P 125
農業新ブランド育成事業	農業経営振興センター	P 125
南郷新規作物研究事業	農業経営振興センター	P 125
水産物流通加工振興事業	水産事務所	P 126
Buyはちのへ運動普及啓発推進事業	商工課	P 126
ナニヤドヤラ廻道ふるさとフェスタ開催事業	商工課	P 126
農産物等販売促進事業	農業経営振興センター	P 126

(2) 市民アンケートの結果

【設問】 八戸せんべい汁や八戸前沖さばなどの八戸ブランドが広く認知され、八戸ブランド商品が国内外に数多く流通するよう、八戸ブランドの確立が図られている。



【参考】 満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 7位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

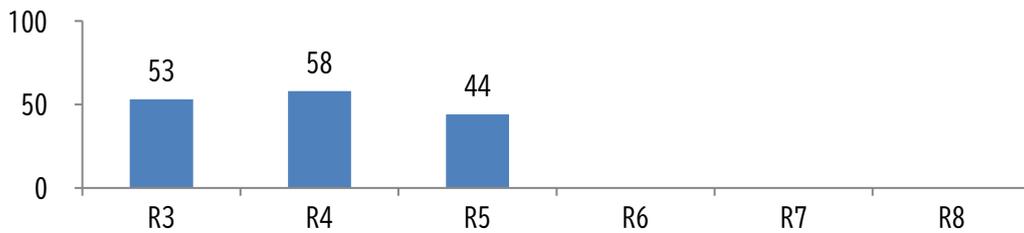
(3) 進行管理指標の動向

①商標権に関する相談件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：知的財産権対策支援事業で対応した商標に関する相談のうち、八戸市内の企業等から寄せられたもの

(単位：件)

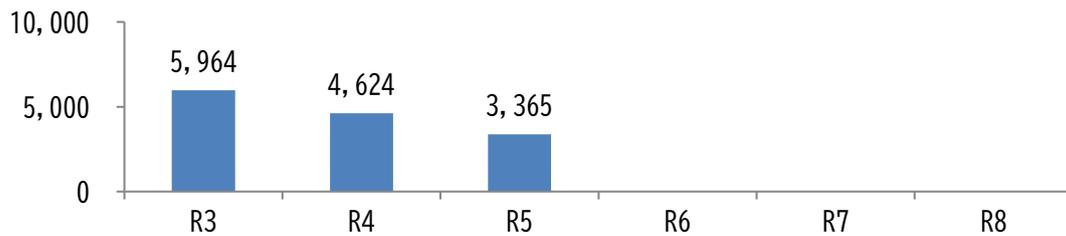


②八戸ワインの製造本数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸ワインの製造本数

(単位：本)

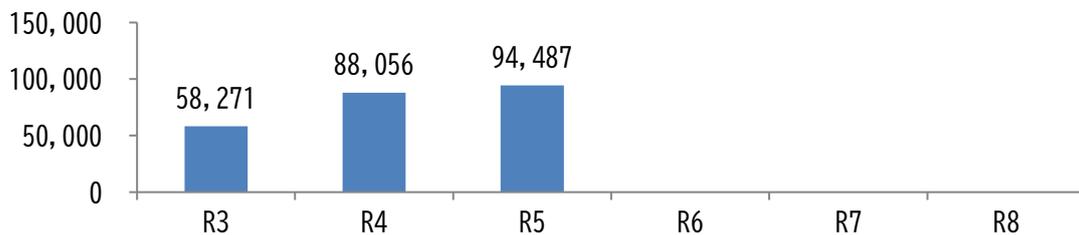


③種差海岸インフォメーションセンターの来館者数

資料：環境省（各年度集計）

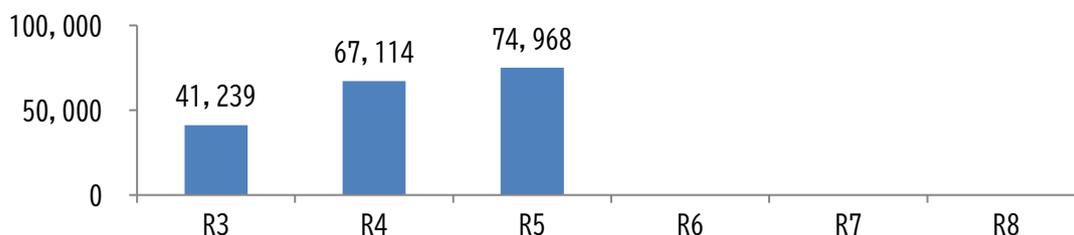
指標の定義：種差海岸インフォメーションセンターの来館者数

(単位：人)



指標の定義：蕪島休憩所の来館者数

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 指標①の商標権に関する相談件数について、相談件数は令和4年度から14件減少した一方、商標登録に繋がった件数は1件増加(R4:11件⇒R5:12件)しており、施策は順調に進んでいると考えられる。
- 指標②の八戸ワインの製造本数について、八戸ワインの定義(八戸産ぶどうを85%以上使用し、市内で醸造したもの)に該当するワインの製造本数は減少したものの、市内でのワイン用ぶどうの収穫量は前年度から微増となったほか、将来のワイナリー設立を目指すぶどう生産者に対して苗木購入補助などの支援や、ワイン産業振興のための各種イベントを継続して実施している。
- 水産物流通加工振興事業について、水産加工品の開発を支援する補助金の対象魚種等の要件を拡大したことから、新たな魚種の加工品が製造され、水産物のブランド化の推進に繋がっている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策2. 史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 文化財等が適切に保存され、その文化的価値が確実に継承されているとともに、市民の保護意識が高まっている。 文化財等が地域資源として活用されていることで、国内外からの来訪者が増加している。
施策の内容	文化財等の適切な保存・整備や活用、確実な継承に取り組むとともに、文化財等が有する魅力を国内外に発信します。

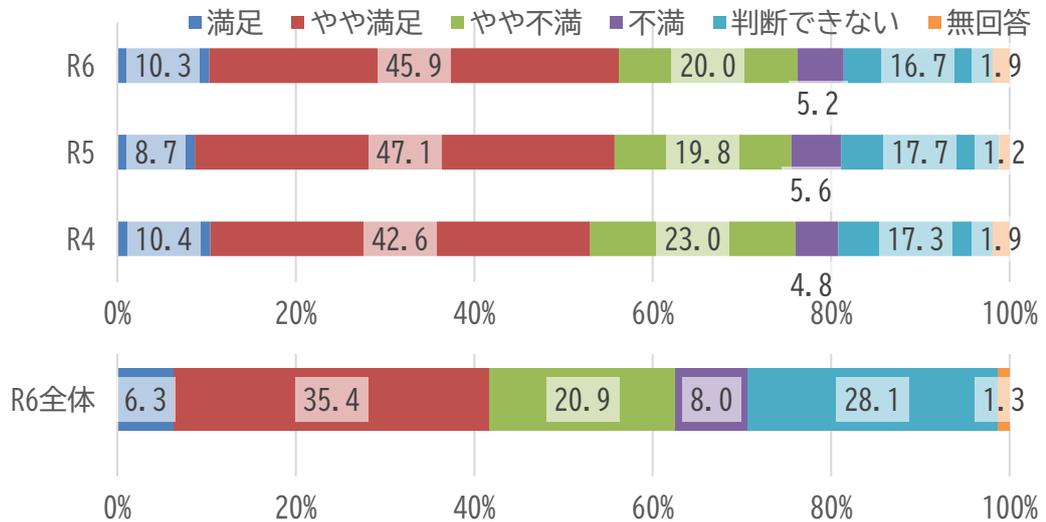
(1) 施策を推進するための事務事業

(20 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
史跡等標示事業	社会教育課	P 127
史跡等環境整備事業	社会教育課	P 127
名勝種差海岸保護事業	社会教育課	P 127
天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地保護事業	社会教育課	P 127
民俗芸能の夕べ開催事業	社会教育課	P 127
文化財の保存・活用事業	社会教育課	P 127
文化財保護管理事業	社会教育課	P 128
八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産 PR 事業	社会教育課	P 129
八戸圏域文化財魅力発信事業	社会教育課	P 129
是川縄文の里整備事業	是川縄文館	P 128
八戸市内遺跡発掘調査事業	是川縄文館	P 128
埋蔵文化財の保存・活用事業	是川縄文館	P 128
古文書解読・保存事業	図書館	P 128
文化財の収集・保存・調査	博物館	P 128
史跡等環境整備事業	博物館	P 129
指定・認定文化財保存活用事業	博物館	P 129
無形民俗文化財後継者養成事業	社会教育課	P 129
指定文化財管理事業	社会教育課	P 129
是川縄文館特別展・体験学習等開催事業	是川縄文館	P 130
博物館各種展覧会・体験学習等開催事業	博物館	P 130

(2) 市民アンケートの結果

【設問】文化財等が魅力ある地域資源として活用され、国内外から来訪者が増加するよう、史跡・名勝・文化財の保存・整備・活用が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 11位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

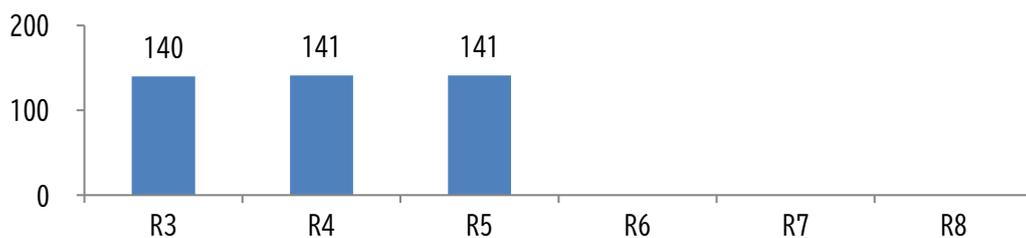
(3) 進行管理指標の動向

①国・県・市指定文化財数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内に所在する国・県・市指定文化財の件数

(単位：件)

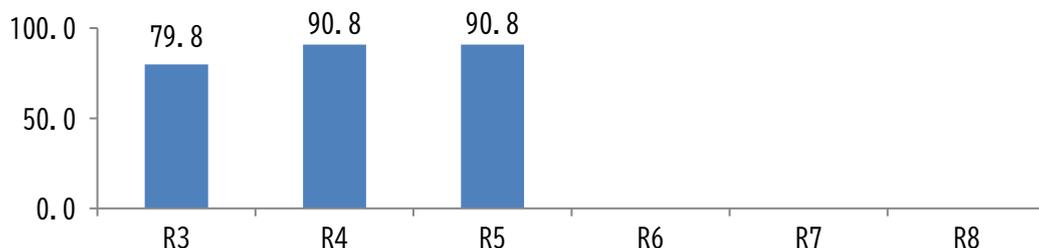


②史跡の公有化率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：史跡是川石器時代遺跡（219,008.95㎡）に対する公有化率

(単位：%)

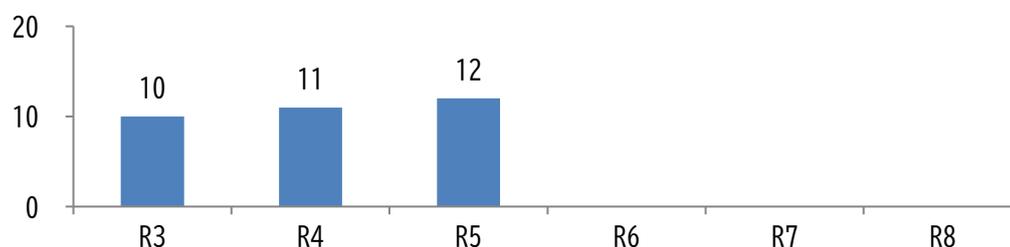


③補助金の交付団体数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：「八戸市無形民俗文化財等保護事業費補助金交付要領」「清水寺観音堂指定文化財管理事業補助金交付要領」に基づく補助金交付決定（額の確定）数

（単位：団体）



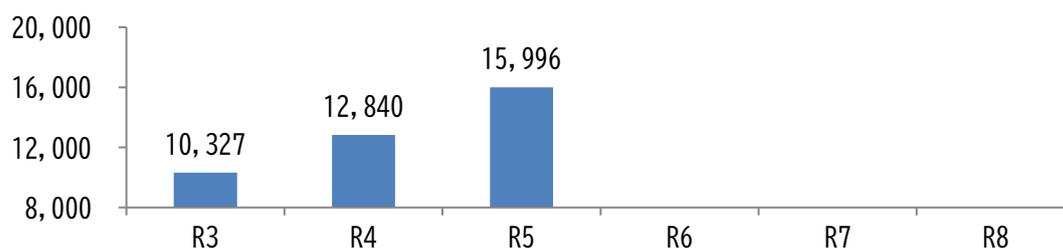
④特別展等の入場者数

（博物館・南郷歴史民俗資料館）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：博物館・南郷歴史民俗資料館が開催する特別展・企画展の入場者数

（単位：人）

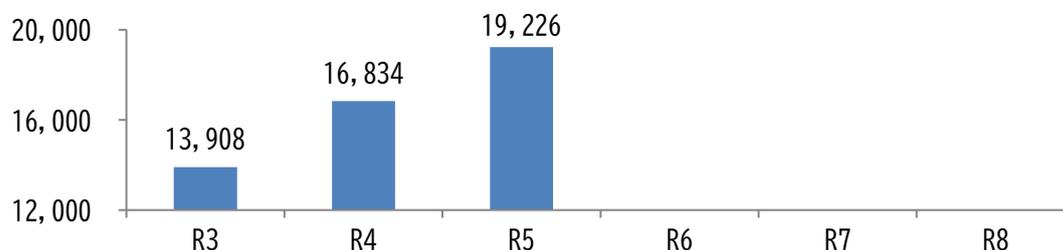


⑤特別展等の入場者数（是川縄文館）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：是川縄文館が開催する特別展・企画展の入場者数

（単位：人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 無形民俗文化財後継者養成事業及び文化財の保存・活用事業、指定文化財管理事業について、毎年度の補助金交付のほかに、倒木被害があった県史跡八戸南部家墓所について、早急に修理事業を立ち上げ、補助金を交付したため、補助金の交付団体数が増加し、良好な状態での文化財の保存に繋がっている。
- 博物館において、特別展等の入館者数は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、行動制限がなくなったことや、特別展等の展示内容が、市民をはじめ観光客の関心が高い分野であったことから、入場者数の増加に繋がっている。
- 是川縄文館において、世界遺産登録により遺跡や是川縄文館への関心が高まったことに加え、展示期間中における様々なイベントの実施や、SNSを活用した幅広い世代に向けた周知により、入場者数の増加に繋がっている。
- 図書館において、古文書解読・保存事業で、『八戸藩勤功帳』第1巻を刊行したほか、郷土に関する資料134点を収集している。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考えます →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

・
・
・

■ 施策の方向性Ⅱ 魅力を広める

施策1. シティプロモーションの推進

目指す姿	・市民が当市への愛着と誇りを持ち、多くの市外居住者が当市を訪れ、関係人口及び定住人口が増えている。
施策の内容	地域資源の魅力を発信するとともに、移住相談体制の充実を図ります。また、首都圏の交流拠点である「8base」を活用した八戸圏域の魅力発信や関係人口の創出・拡大に取り組み、移住促進を図ります。

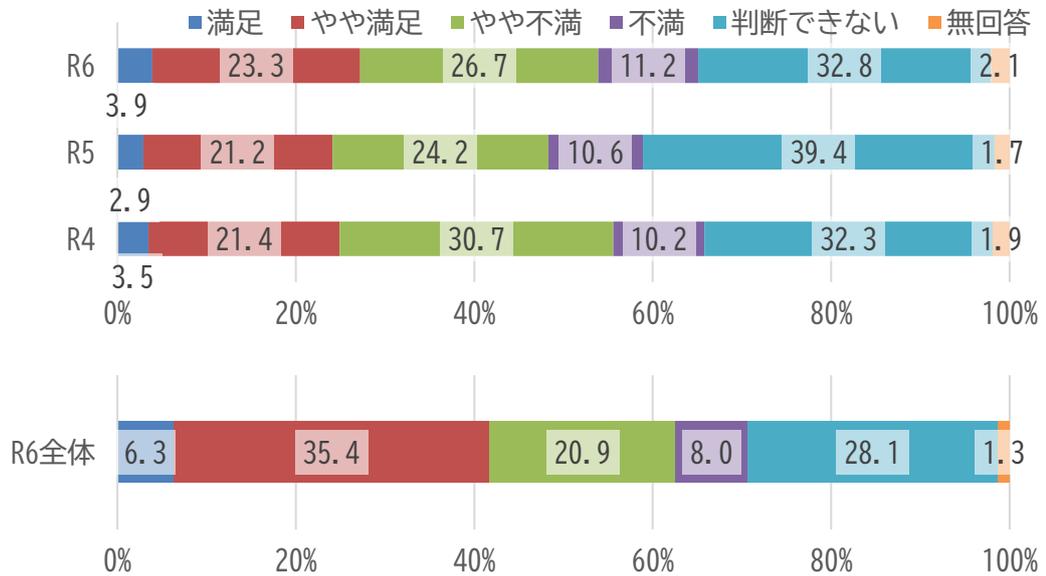
(1) 施策を推進するための事務事業

(10 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
ふるさと寄附金PR事業	広報統計課	P 131
八戸特派大使事業	広報統計課	P 131
シティプロモーション推進事業	広報統計課	P 131
マスコットキャラクター事業	広報統計課	P 131
全国メディアへの情報配信事業	広報統計課	P 131
八戸ウェルカムチケット配付事業	広報統計課	P 132
八戸市スポーツ大使事業	広報統計課	P 132
VISIT はちのへ活動支援事業	観光課	P 131
移住・交流促進事業	広報統計課	P 132
八戸都市圏交流プラザ運営事業	観光課	P 132

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が当市への愛着と誇りを持つとともに、市外からの来訪者・移住者が増えるよう、シティプロモーションが推進されている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 49位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

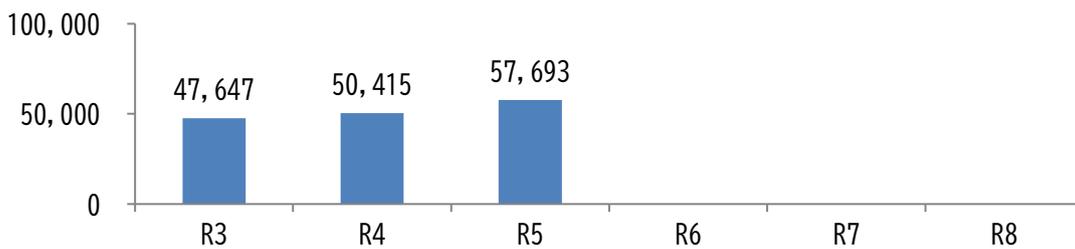
(3) 進行管理指標の動向

① 八戸市公式SNSの登録者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸市公式 SNS（X、フェイスブック、ライン、インスタグラム）の登録者数

（単位：人）

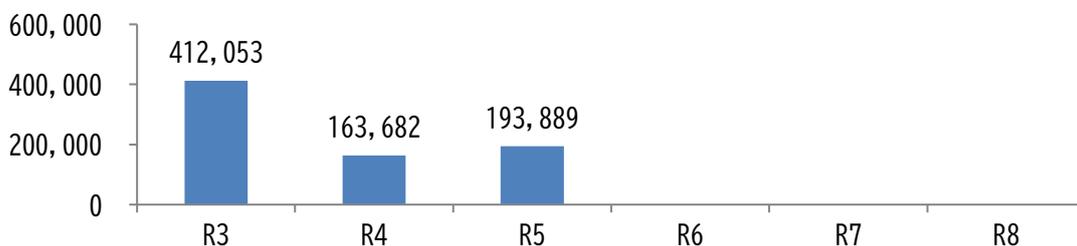


② SNSから市ホームページへのアクセス数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：SNS（市以外の個人も含む）から市ホームページにアクセスされた件数

（単位：件）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- シティプロモーション推進事業について、特に SNS で市政情報のほかイベント情報や季節に応じた魅力を毎日継続して発信することで、市公式 SNS の登録者数の増加や市ホームページへのアクセス数の増加に繋がったと考える。
- 八戸都市圏交流プラザ運営事業では、都内で運営している 8base において、プロモーションイベント等を開催し、八戸圏域のファンづくりを図っているほか、観光 PR を推進し、関係人口の増加に努めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策２．観光地域づくりの推進

目指す姿	・多くの観光客が当市を訪れ、おもてなしの心を持った市民の活動や受入体制の充実により、観光客の満足度が高まっている。
施策の内容	外国人観光客を含めた観光客の受入体制の充実を図るとともに、種差海岸周辺や中心市街地等における観光関連施設の整備・運営に取り組みます。また、八戸ならではのイベントへの支援や、周辺自治体や VISIT はちのへの連携による誘客促進、「はっち」や「8base」における観光誘客を図ります。

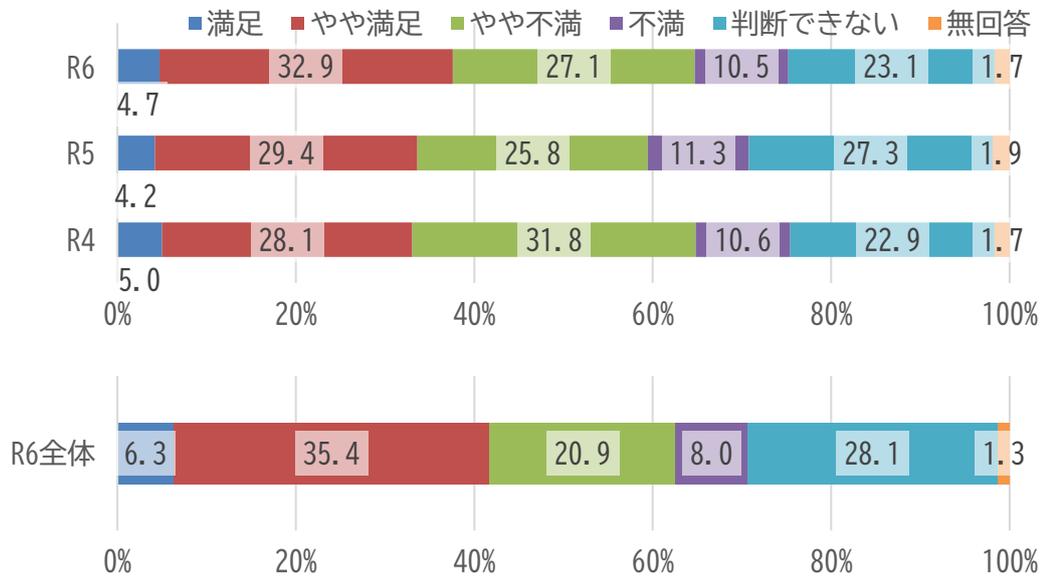
(1) 施策を推進するための事務事業

(17 事業)

事業名称	担当部署	事業一覧 掲載ページ
八戸ポータルミュージアム事業	八戸ポータルミュージアム	P 133
種差海岸遊覧・日曜朝市循環バス運行事業	観光課	P 133
種差海岸 PR 促進事業	観光課	P 133
三陸ジオパーク推進事業	観光課	P 133
VISIT はちのへ活動支援事業	観光課	P 133
観光施設管理運営事業	観光課	P 133
観光地施設整備事業	観光課	P 133
観光案内所運営事業	観光課	P 134
旧柏崎小学校跡地広場整備事業	観光課	P 134
水産科学館管理運営事業	観光課	P 134
八戸三社大祭 PR 事業	観光課	P 134
八戸えんぶり PR 事業	観光課	P 134
青函圏観光都市連携事業	観光課	P 135
はちとま観光 P R 事業	観光課	P 135
南郷ジャズフェスティバル開催支援事業	南郷事務所	P 135
物産販売促進事業	観光課	P 135
八戸都市圏交流プラザ運営事業	観光課	P 135

(2) 市民アンケートの結果

【設問】多くの観光客が当市を訪れ、受入体制や観光資源の魅力により、観光客の満足度が高まるよう、観光地域づくりが推進されている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 38位／全55問

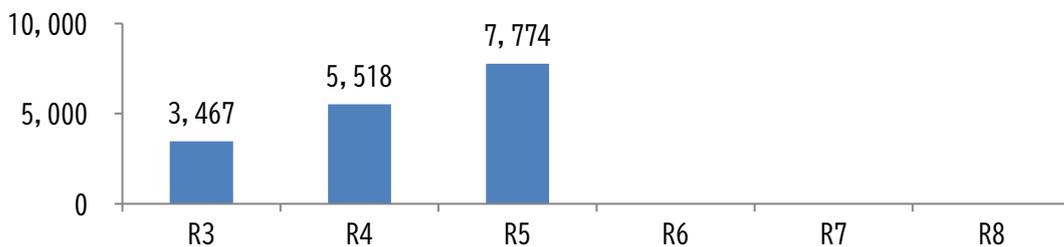
※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

①市民ガイド団体による観光ガイド案内人数 資料：（一財）VISITはちのへ（各年度集計）

指標の定義：八戸さんぽマイスター、是川縄文館ボランティアガイド、根城史跡ボランティアガイドの案内人数

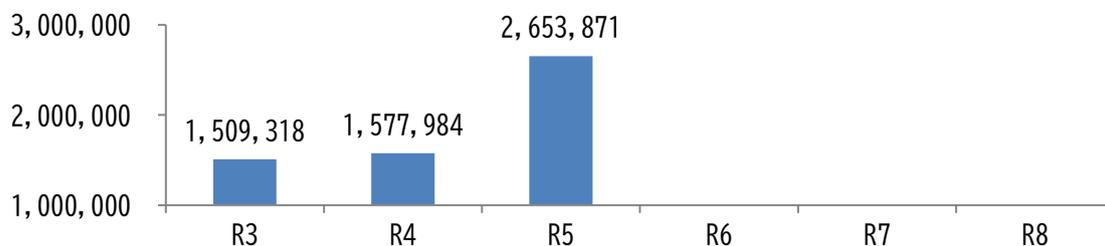
（単位：人）



②VISITはちのへホームページへのアクセス数 資料：（一財）VISIT はちのへ（各年度集計）

指標の定義：（一財）VISIT はちのへホームページへのアクセス数（PV数）

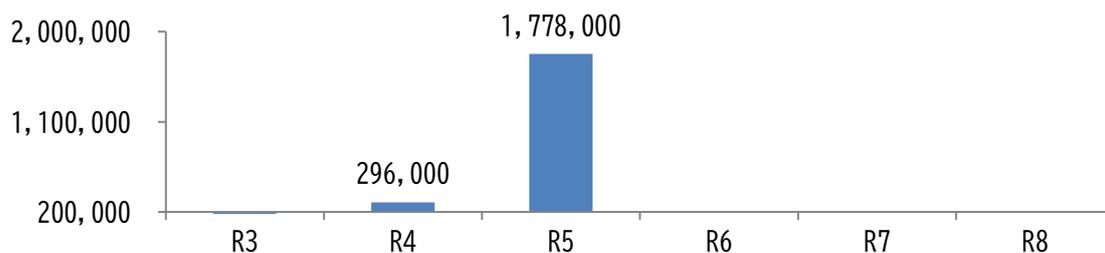
（単位：PV）



③八戸三社大祭及び八戸えんぶりの入込客数 資料：（一財）VISIT はちのへ（各年度集計）

指標の定義：八戸三社大祭期間中（前後夜祭を含む）及び八戸えんぶり期間中の入込客数

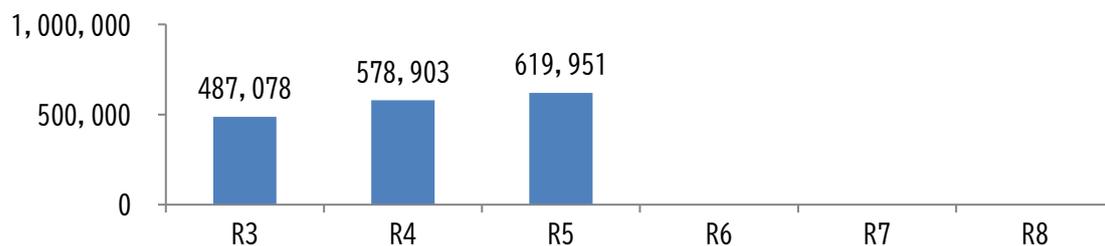
（単位：万人）



④八戸ポータルミュージアムの入館者数 資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸ポータルミュージアムの入館者数

（単位：人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 指標①の市民ガイド団体による観光ガイド案内人数においては、コロナ禍による行動制限がなくなったことにより、案内人数が増え、観光客の満足度向上に繋がっているほか、指標②の VISIT はちのへのホームページへのアクセス数については、コロナ明けに加え、「はちのへ Scope」等といった同ホームページ内のコンテンツ内容の充実や、各種 SNS を活用してホームページへのアクセス動線を確認しており、令和4年度よりもアクセス数が大幅に増加している。今後も VISIT はちのへ活動支援事業などを通じて、更なる当市の魅力発信に努めていく。
- 八戸三社大祭が4年ぶりの通常開催となったことにより、入込客数が増えており、指標④の八戸ポータルミュージアムの入館者数では、観光客が戻って来たことにより、入館者数が増加しており、八戸の魅力の発信に繋がっている。
- 南郷ジャズフェスティバル開催支援事業では、コロナ禍を経て4年ぶりに開催したが、出演者の選定をはじめ、周知方法や運営体制等を工夫することで、南郷ジャズ本来の機運を取り戻し、次回以降の開催に繋げることができた。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<p>・</p> <p>・</p>

施策3. 国際交流の促進

目指す姿	・姉妹・友好都市やその他の海外都市との相互理解が深まっており、当市の魅力が広がっている。
施策の内容	姉妹・友好都市・その他の海外都市との相互理解の深化や国際交流の機会を活用した魅力発信を推進するとともに、海外の交流団の受入れや外国人住民との交流の機会を活用した魅力発信に取り組みます。

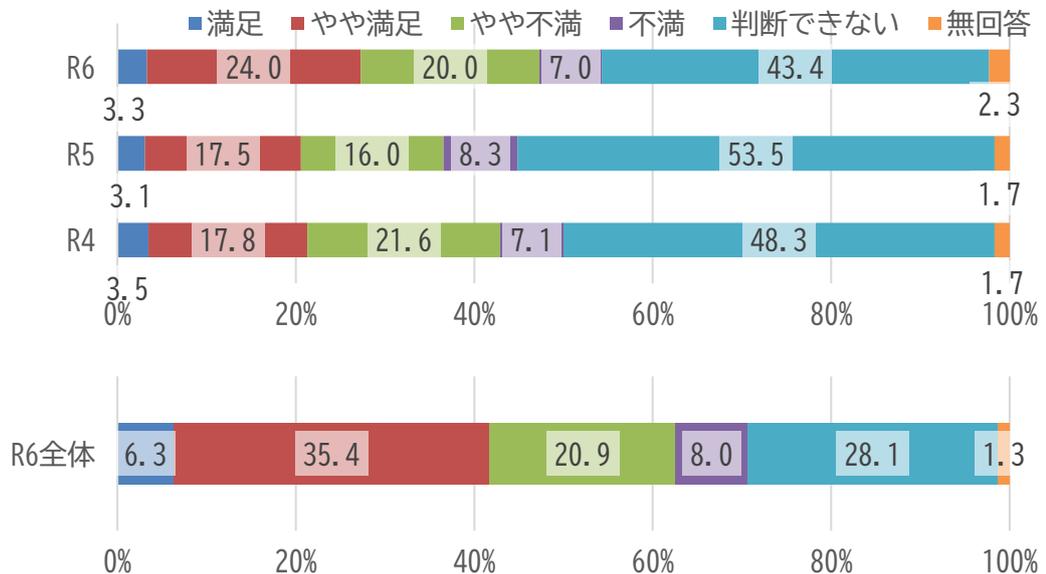
(1) 施策を推進するための事務事業

(3事業)

事業名称	担当部署	事業一覧掲載ページ
地域国際化団体支援事業	市民連携推進課	P 136
海外都市等交流事業	市民連携推進課	P 136
青少年海外派遣交流事業	教育指導課	P 136

(2) 市民アンケートの結果

【設問】姉妹・友好都市やその他の海外都市との相互理解が深まるとともに、当市の魅力が国外に広まるよう、国際交流の促進が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 37位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

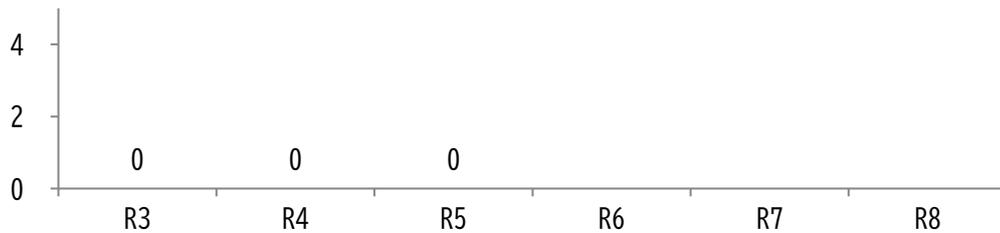
(3) 進行管理指標の動向

①青少年海外派遣交流事業における 延べ派遣国数及び受入国数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：青少年海外派遣交流事業において派遣した延べ国数及び受入れた述べ国数

(単位：か国)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 地域国際化団体支援事業を通じて、国際交流フェスタ等を予定どおり実施することで、国際交流の機会を提供できており、外国人と住民の交流促進が図られている。
- 海外都市交流事業は、姉妹都市アメリカフェデラルウェイ市長一行が15年ぶりに来八し、交流を深められたとともに、姉妹・友好都市との交流周年行事を実施し、魅力発信と相互理解の深化を図ることができた。
- 指標①の青少年海外派遣交流事業は、コロナ禍で事業を中断していたが、令和6年度より事業を再開していく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考えます →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-